

平成23年度市民研究員 研究成果発表会

互いに助け合い、 共生するまちづくり

2011年3月11日以降、東日本大震災の被災地や、避難生活を余儀なくされている方々に対して、世界各国、日本全国から様々な温かい支援が向けられています。その一方で、少子高齢化、婚姻に対する意識変化、ネットを交流の中心手段とする人口の増加、終身雇用制度の崩壊、長引く不況、団塊世代の大量退職といった様々な要因により、「無縁社会」と称される社会問題が日本全国で見受けられており、社会全体で助け合い、地域全体で支えあう社会的価値観が失われつつあると言えます。

福岡市は、ビルが密集する都心部から、自然豊かな農山漁村集落に至る多様な都市の姿を持つのと同時に、地域間の生活様式の違いが顕著な都市だと言えます。また、「支店経済」と言われている経済構造や、多数の高等教育機関の卒業生や入学生のため、毎年約1割の人口が転入・転出する、地域に根付かない人口が多い都市であるとも言えます。こういう福岡市の現状をふまえた上で、若者と高齢者が助け合い、都市と農村が共生し、交通弱者や買い物難民が助けられ、都市災害に対してまち全体が協力して対応していく仕組みをつくっていくかを考える必要があります。

今年度は、5名の市民研究員が、「互いに助け合い、共生するまちづくり」というテーマのもと、それぞれに関心ある個別テーマについて研究いただいております。様々な切り口が考えられる奥の深いこのテーマについて、それぞれ違った角度から「共生するまちづくり」のための提言を発表いたします。

みなさまのご参加をお待ちしています。

個別研究テーマ (アイウエオ順：当日は発表順が変わります)

- 福岡のココロザシ。ーシビックプライドの醸成とコミュニケーション戦略ー 足立兆玄
- 地域文化の拠点としての商店街のあり方について 春藤なぎ
- 志縁でつながるまちへ～地縁・血縁・社縁 あらゆる縁の串として「志縁」～ 陶山美奈
- 志縁でセーフティーネットを構築する～「孤立死」ゼロのまちへ～ 日高一明
- ユニバーサルデザインのまちづくり～災害時における障害のある人を取り巻く現状と課題～ 吉住寛之

日 時

平成24年2月26日(日)
14:00～16:00
(開場:13:30)

会 場

アクロス福岡セミナー室2
福岡市中央区天神1-1-1
アクロス福岡2F

申 込

E-mail、又はFAX、電話にて
(FAX申込票は裏面)
定員50名(申込先着順)
参加無料

申 込 先

〒810-0001
福岡市中央区天神1丁目10-1
財団法人福岡アジア都市研究所
TEL 092-733-5686 FAX 092-733-5680
E-mail shimin@urc.or.jp

主催 財団法人福岡アジア都市研究所

財団法人福岡アジア都市研究所 行き

FAX 092-733-5680

互いに助け合い、共生するまちづくり

市民研究員研究成果発表会

※ H24年2月22日（水）までにご返送下さい。

申 込 票	
ふりがな	
氏 名	
住 所	
電話番号	
E-mail	

※お申し込み後、整理券の送付はいたしません。当日は、直接会場へお越しください。

※定員を超えている場合には、折り返しご連絡いたします。

※記載された個人情報につきましては、当研究所セミナーのご案内以外には利用いたしません